

水橋漁港(富山市管理・第2種)



平成26年 8月22日撮影

- 漁港の所在地 富山市水橋辻ヶ堂
- 漁港の指定 昭和26年 7月28日 農林省告示第270号
- 漁港管理者の指定 昭和41年 5月 4日 富山県告示第316号
- 沿革

白岩川の河口を利用して発達した水橋漁港は、大正年代から昭和初期にかけて北海道方面への漁業用資材の積出港として、また沿岸漁業の根拠地として重きをなしてきた。昭和8年白岩川改修事業により導流堤が新設され、昭和21年漁船のための船溜が整備された。

昭和26年漁港の指定をうけ、第1～7次整備計画までに、修築事業、改修事業、局部改良事業により、防波堤、泊地、物揚場等の漁港施設が整った。

第9次整備計画では、「新マリノバージョン拠点交流促進総合整備（ふれあい整備）計画」に基づき、白岩川と漁港を分離するほか、海洋性レクリエーション施設を含む総合的な漁港整備を行った。

平成14年以降の新第1～2次漁港漁場整備長期計画では、地域水産物供給基盤整備事業、漁港利用調整事業、漁村再生交付金事業により、護岸、臨港道路、防波堤、フィッシャリーナ等を整備した。

平成24年からの新第3次漁港漁場整備長期計画では、水産物供給基盤機能保全事業による物揚場補修等を実施した。

平成29年からの次期漁港漁場整備長期計画では、引き続き水産物供給基盤機能保全事業による港内の浚渫を実施予定である。